

第2期能登町データヘルス計画の目標管理一覧表

健康課題	達成すべき目標	課題を解決するための指標	初期値	中間評価値	最終評価値
			H28	H31	H35
<p><医療の状況> ○一人あたりの医療費が高い。 ・医療費を疾患別で見ると、「がん」の占める割合が高い。 ・生活習慣病では、糖尿病・脂質異常症・虚血性心疾患・慢性腎不全の医療費が増加傾向である。</p> <p><健診の状況> ○特定健診受診率が低い。 ・40歳代、50歳代の受診者が少ない。 ・健診未受診者のうち、生活習慣病治療者が4割いる。</p> <p>○特定保健指導対象者の減少率が低い。 ○メタボリックシンドローム該当者が多い。 ○血圧未治療者で、受診勧奨対象者が多い。 ○血糖検査（HbA1c）の保健指導対象者が増加している。 ○腎臓検査（クレアチニン）の受診勧奨対象者が増加している。</p> <p><介護保険の状況> ○若い年代40～64歳（第2号被保険者）の有病率は、脳卒中と糖尿病が多い。</p>	特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により、重症化予防対象者を減らし、医療費の伸びを抑える。	特定健診受診率60%（国の目標）	42.8%	50.0%	60.0%
		特定保健指導実施率60%（国の目標）	59.1%	65.0%	65.0%
		特定保健指導対象者の減少率25%（国の目標）	11.7%	16.0%	25.0%
	糖尿病性腎症による透析、虚血性心疾患、脳血管疾患の医療費の伸びを抑制し、3つの疾患の総医療費に占める割合を減らす。	脳血管疾患の総医療費に占める割合の減少	1.5%	1.0%	1.0%
		虚血性心疾患の総医療費に占める割合の減少	4.7%	4.0%	4.0%
		糖尿病性腎症による透析導入数の減少	2人	2人	2人
	糖尿病性腎症、虚血性心疾患、脳血管疾患の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす。	メタボリックシンドローム該当者の割合減少25%（国の目標）	23.7%	22.0%	20.0%
		メタボリックシンドローム予備群の割合減少25%（国の目標）	10.7%	10.0%	9.5%
		健診受診者の高血圧の割合減少（160/100以上）治療なし	5.0%	4.5%	4.0%
		健診受診者の高血圧の割合減少（160/100以上）治療あり	3.3%	3.0%	2.0%
		健診受診者の脂質異常者の割合減少（LDL180以上）治療なし	1.9%	1.5%	1.0%
		健診受診者の脂質異常者の割合減少（LDL180以上）治療あり	0.4%	0.4%	0.2%
		健診受診者の糖尿病有病者の割合減少（HbA1c6.5以上）治療なし	5.5%	5.0%	4.5%
		健診受診者の糖尿病有病者の割合減少（HbA1c7.0以上）治療あり	25.3%	24.5%	24.0%
糖尿病の未治療者を治療に結び付ける割合65%以上		把握できず	46.0%	66.0%	
糖尿病の保健指導を実施した割合70%以上（HbA1c6.5以上）		32.6%	49.0%	71.0%	
○各種がん検診受診率が国や県と比較して低い。	がんの早期発見、早期治療	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上（国の目標）	9.0%	25.0%	25.0%
		肺がん検診 50%以上（国の目標）	20.3%	25.0%	25.0%
		大腸がん検診 50%以上（国の目標）	13.9%	25.0%	25.0%
		子宮頸がん検診 50%以上（国の目標）	18.8%	25.0%	25.0%
		乳がん検診 50%以上（国の目標）	20.3%	25.0%	25.0%
○特定・若年・後期高齢者健診・がん検診受診率が低い。	自己の健康に関心を持つ住民が増える（各種健診受診者が増える）	健診まる得券の利用率	36.5%	45.0%	50.0%
○後発医薬品の使用割合が低い。	後発医薬品の使用により、医療費の伸びを抑制	後発医薬品の使用割合80%以上（国の目標）	38.7%	70.0%	80.0%